

令和5年度 第2回 東松山市国民健康保険運営協議会 会議録

開催日時	令和6年2月2日(金)		開会	午後1時30分		
			閉会	午後3時00分		
開催場所	全員協議会室					
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 報告事項 ・令和5年度東松山市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について ・令和6年度東松山市国民健康保険特別会計当初予算について ・その他 4 その他 5 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		1人	
委員	会長	島田 安三	出席	委員	盧 勇	出席
	副会長	林 正治	出席	委員	新井 稔明	欠席
	委員	椎名 和昭	出席	委員	大塚 幟	出席
	委員	上 万里子	出席	委員	井上 辰憲	出席
	委員	横田美代子	出席	委員	笛木 久子	出席
	委員	倉本美奈子	出席	委員	矢萩 義則	欠席
	委員	澤田 勘孝	出席	委員	風間 千草	欠席
	委員	須田 清美	出席			
事務局	健康福祉部長 田嶋 靖洋		健康福祉部次長 高荷 和良			
	保険年金課長 柴崎 恭史		保険年金課主幹 長嶋 統博			
	保険年金課副課長 小林 真樹		保険年金課主査 真鍋 修章			
	保険年金課主査 荻野 真美		収税課長 長谷川宣子			
次第	顛					末
1 開会						
2 あいさつ	— 島田会長あいさつ —					
3 議題 事務局	出席者12名で東松山市国民健康保険に関する規則第5条第3項の規定による定足数に達しているため、会議は成立したと報告					

事務局	<p>【議事の開始】</p> <p>(東松山市国民健康保険に関する規則第5条第1項の規定により、議事進行は島田会長)</p>
島田会長	<p>会議録署名委員は椎名委員と井上委員にお願いする。傍聴の申込みはあったか。</p>
事務局	<p>傍聴の申込みがあった旨を報告</p> <p>&lt;傍聴人1名が許可を受けて入室&gt;</p>
島田会長	<p>報告事項(1) 令和5年度東松山市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について</p>
事務局	<p>— 資料1を用いて説明 —</p> <p>&lt;質疑応答&gt;</p>
林委員	<p>医療費の伸びが当初予算と比べて5%多いとの説明がありましたが、その理由についてお聞かせください。</p>
事務局	<p>2款保険給付費1項1目の一般被保険者療養給付費の状況で説明をします。</p> <p>保険給付費のうち、療養費や高額療養費についても同じような傾向がございます。</p> <p>当初予算積算時の一人当たりの医療費を約27万5,000円と見込んでおりました。現状で一人当たりの医療費は29万1,000円となりましたので、今回補正を行うことといたしました。</p> <p>増えた要因でございますが、様々な要因が考えられますが、入院に係る医療費が増えている傾向が見受けられることがあげられます。また、この後の2月、3月の医療費について、現在、流行しているインフルエンザの影響も加味して、補正予算を計上しております。</p>
島田会長	<p>報告事項(2) 令和6年度東松山市国民健康保険特別会計当初予算について</p>

事務局	<p>— 資料 2 を用いて説明 —</p>
林委員	<p>〈質疑応答〉</p> <p>基金残高が令和 6 年度末に約 4 億円と説明がありましたが、令和 6 年度の当初予算の取崩額が約 5 億 4,400 万円と記載がありますので、令和 7 年度の予算で同等規模の取崩額になると令和 7 年度で、使い切ってしまうことになるのではないのでしょうか。令和 8 年度以降は基金がない状況となっていくと思いますが、保険税への影響はどうなりますでしょうか。</p>
事務局	<p>資料の 6 ページにあります通り、令和 6 年度当初に 9 億 4,200 万円の残高に対して、5 億 4,432 万円を取り崩すことで令和 6 年度末の基金残高が約 4 億円になります。しかし、5 年度予算の中に繰り入れている基金があります。5 年度末の時点で、余った分については、6 年度にその分を積み増します。実際の数字を見込むと令和 6 年度末には今の 4 億円に 2 億円をプラスして 6 億円くらいはあるのではないかと試算をしております。</p> <p>その 6 億円については、令和 7 年・8 年度の国民健康保険税と県の標準保険税率による歳入の差分を埋めるために活用してまいりますので、基金の残っている分については今後減っていくと見込んでおります。</p>
島田会長	<p>3 ページに産前産後保険料繰入金と記載がありますが、これはどういったものなのか説明をお願いします。</p>
事務局	<p>産前産後保険料繰入金とは、産前産後保険料の減額した分を公費で補填するものです。その前提となります産前産後保険料の減額についてですが、今年の 1 月から始まった制度でございまして、国保の被保険者の中で、お子さんが生まれたお母さんにかかる国保税を出産する前月から出産した後 3 か月までの計 4 か月間分を減額しようという制度でございます。減額することで税収が減った分を公費から補填されるというのがこの繰入金になります。</p>
島田会長 事務局	<p>報告事項 (3) その他について</p> <p>— 資料 3 を用いて説明 —</p> <p>〈質疑応答〉</p>

林委員	3 ページの一番下にあります、特定健康診査受診率、特定保健指導実施率の目標値 60%とありますが、この数字の根拠を教えてください。
事務局	特定健康診査受診率、特定保健指導実施率の目標値 60%の根拠でございますが、別冊①の運営方針の 47 ページをご参照ください。県の計画の中で令和 11 年度に 60%以上の受診率、実施率と目標値を定めております。大変厳しい数字だと認識しておりますが、県から示された目標値ですので、市としましてもこの目標値を目指して事業を進めてまいりたいと考えております。
島田会長	2 点ほどお聞かせください。1 つ目が特定健康診査の受診率の関係ですが、過去に八王子市などでは、がん検診の受診率を上げるために、様々な工夫をされたと聞いています。行動経済学というナッジ理論に基づいた取り組みなども行ったと記憶しておりますが、東松山市でもそれに倣って外部業者に委託をして、ナッジ理論を活用した勧奨を過去にしたことがあると思いますが、その効果については検証していますでしょうか。
事務局	令和元年度からナッジ理論を活用した受診勧奨を行っています。開始した時期が、ちょうど新型コロナウイルス感染症が流行し始めた時期だったため、なかなか受診勧奨の効果が把握できないような状況でありましたが、他の自治体や県の受診率の平均が軒並み減少している中で、東松山市は落ち込みが少なく推移しておりましたので、そういった部分で効果があったのではないかと考えております。
島田会長	2 つ目ですが、特定健康診査については、同じ東松山市内の中でも地域によって受診率に大きな差があると聞いています。私の記憶では、一番受診率が高いのが高坂丘陵地区で、6 割を超えていたと記憶しておりますが、地域差がなぜ生じるのか、高いところは、なぜ高いのかなどの分析をされているようであれば、その原因や理由を教えてください。
事務局	地区ごとの受診率に違いがあることは把握していますが、その差がなぜ生じるのかまでは結論が至っていない状況です。ただ、生活習慣病の治療をすでに行っている方は、「治療を行っているので健診は必要ない」と考えている方がおられますが、そういった考えが反映されている地域があるのではないかと推測しております。

島田会長	<p>高坂丘陵地区は市内でも高齢化率がトップの状況ではなかったかと記憶していますが、同じ高齢化でも受診率が高い地域とそうでない地域があるということでは、このままいくと6割の達成はなかなか難しいと思います。別の切り口、地域格差などを踏まえた検討をしていただけるとよいと思います。</p>
笛木委員	<p>現在、インフルエンザが流行していると思いますが、私の周りでは、薬局に行っても薬が手に入らない、ジェネリックの薬が手に入らないなどの話を聞くことが多いのですが、その点に関して、市の見解をお聞かせください。</p>
事務局	<p>保険者の立場からお答えできることがなかなかないのですが、ジェネリック医薬品については、医療費の削減の観点から利用を推奨する立場でございますので、ジェネリック医薬品を極力使ってくださいと申し上げている中で、品がないということをお耳にします。医薬品の安定供給については、一市町村にできることは少ないかと思いますが、ジェネリック医薬品をご案内する中では、無理のない範囲で利用をお願いできればとお伝えしております。</p>
笛木委員	<p>带状疱疹ワクチンの接種に対して、補助などはないのでしょうか。</p>
事務局	<p>医療保険の保険者として、ワクチン接種に対して補助を行っている自治体は把握していません。市の補助として行っている自治体はあると承知していますが、国において定期接種化の議論が行われているようですので、本市としては、国の動向を注視している状況と認識しています。</p>
4 その他 事務局	<p>— 島田会長の議長職の任を解く —</p>
5 閉 会	<p>— 林 副会長あいさつ — — 事務局閉会宣言 —</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。 令和6年2月26日</p> <p style="text-align: center;">署名委員      <u>          椎名 和昭          </u></p> <p style="text-align: center;">署名委員      <u>          井上 辰憲          </u></p>	